

# 街歩きヒストリア



城南通り沿いにある境内。地元の方々が清掃されており、すがすがしい空気が漂います。

## 秀玉稲荷神社

京橋町

駅前大橋南詰から猿猴川に沿い西へ歩くと、神社の赤い鳥居が目に入ります。由緒書によれば、まだ広島という名がない頃から敬われていたそうです。

広島城築城以前から、毛利氏はデルタの干拓を奨励し、多くの治水工事も行わせました。京橋川と猿猴川分岐点の堤や、段原比治山方面に水を引く堰（せき）の築造もその一環でした。その際の事故犠牲者を、ここに守護霊として祀（まつ）っています。秀（すぐ）れた魂の持ち主を表す「秀玉」という神の名で。

今、付近では大規模な工事が進行中。その安全を対の狛狐が優しく見守っています。

（文・写真 柴田篤さん）



神社が立つ猿猴川右岸からの眺め。駅前大橋では、路面電車新軌道の敷設工事が進んでいます。



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」の制作スタッフを随時募集しております。